

1枚で5役!

エグゼラックス EXELUX®

ウィンドウフィルム 屋内用

プライバシー保護・UVカット (UPF50+ UV-A:97.71% UV-B:99.99%)

遮熱※1・防カビ・ガラス飛散防止

※1 遮熱効果:平均約4.5℃ 商品使用時と未使用時の熱線受光体の温度の0~15分経過までの温度差の平均。遮熱性試験(レフランプ法)。一般社団法人カケンテストセンター調べ。

★目隠し効果

充分な天然の日光を室内に取り込み明るさを確保しながら、近隣住宅や外部からのプライバシーを守ります。また、食器棚等目隠しをしたいガラス戸等にも活用出来ます。

★紫外線対策

UVカットの世界的基準値であるUPF※50+のフィルムを採用。紫外線を大幅カットして、家具の日焼け、変色、劣化も軽減出来ます。

※UPFとは

Ultra violet Protection Factor(紫外線保護指数)の略称で、UVカットの世界的基準値です。これは、どれほど日焼けを遅らせることができるか?という指標で、最高値は50+であり、太陽光(紫外線)の下で皮膚が赤くなり始める時間と比べて約50倍以上遅らせることができるという数値です。紫外線対策でよく目にするSPFとは、Sun Protection Factor(紫外線防御指数)の略称で、日焼け止めや化粧品等「肌に直接塗る」という行為があつての数値です。これは窓フィルムに適用する数値ではございません。

★ガラス飛散防止

静電気吸着効果が粘着力を引き出し、ガラスが割れても飛散を最小限に抑える事が出来るので、台風や地震等災害時の二次災害の抑制にも繋がります。

★冷暖房効率アップ(省エネ効果)

夏は強い日差しによる室内の温度上昇を抑え、冬は窓から室内温度の放熱を防ぐので、省エネ・節電対策に有効です。

★貼付け簡単

はく離シートにはカット目安になる方眼スケールが入っているので、簡単なDIY&模様替えが出来ます。

★接着剤不使用

静電気吸着タイプですから、水だけで貼るので貼り直ししやすく、剥がした後も接着剤の跡が残りません。また、不要になった時に剥がしやすく、再利用が可能です。

※再利用する際は、貼付け面についている埃を水で洗い流して下さい。

※使用(保管)条件等によるフィルムの劣化で、再利用出来ないことがあります。

適用ガラスタイプ

○ 表面に凹凸がない滑らかなガラス

✗ すりガラス等の粗い表面と多孔性表面のガラスや木材、タイル等



ペアガラス(二重ガラス)やROW-Eガラス、網入りガラス等特殊なガラスにフィルムを貼ると蓄熱、膨張し、ガラスにひびが入る恐れがありますので、お止め下さい。車窓用ではございません。

貼付け方法

★準備するもの:霧吹き、メジャー、定規、ハサミ又はカッター、スクイージー(付属)

① ガラスのお手入れ

ウィンドウフィルムを貼る前に必ずフィルムを貼るガラス面や窓枠の指紋(油污れ)やホコリ等を丁寧に拭き取って下さい。

Point!

窓枠やガラスが汚れていると、作業中に汚れが垂れ、フィルムとガラスの間に入ってしまう事があります。仕上がりに影響しますので、念入りに拭き取って下さい。

② ガラス面のサイズを測る

貼りたいガラスの実寸サイズ(ガラスを留めているゴムの内側から縦・横のサイズ)を測って下さい。

Point!

貼付け時、ゴム部分にフィルムがかかると、はがれやすくなります。

③ フィルムの裁断

測ったガラスの実寸サイズよりも0.2~1cm程度小さくカットして下さい。

Point!

ガラスの実寸サイズよりもフィルムが大きい場合、貼り付け時の水や空気を十分に抜けない場合があります。また、貼付け後にフィルムをカットすると、ガラスやゴム部分を傷つける恐れがあります。

④ フィルムの貼付け

貼付け位置を確認し、本体シートをテープ等で仮止めします。霧吹き等でガラス面に水を吹きかけ、はく離シートをゆっくりと端から剥がしながら、本体シートをガラス面に貼り付けて下さい。(ガラスに貼り付ける面は、はく離シートを剥がした面です。)

Point!

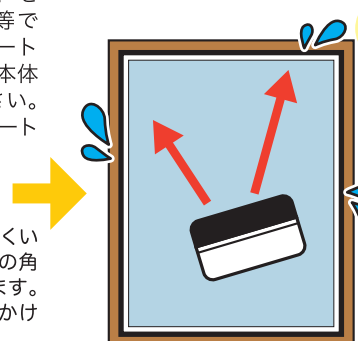
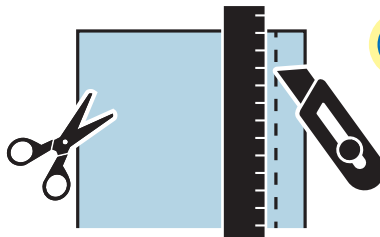
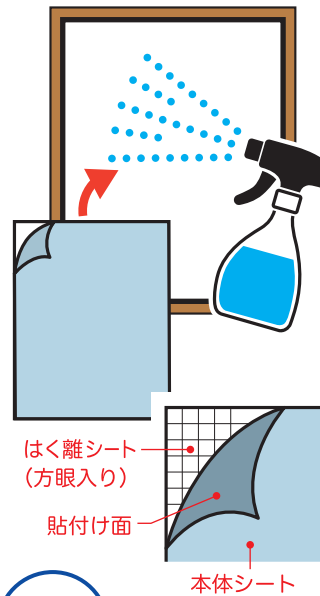
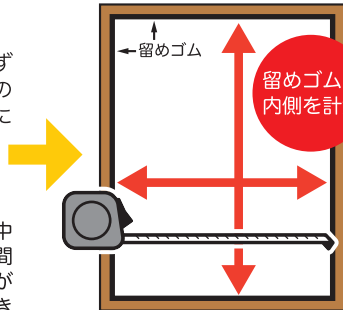
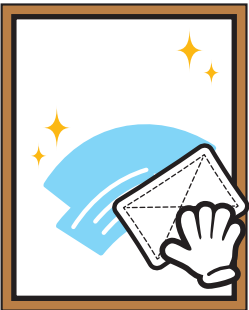
本体シートとはく離シートを剥がしにくい場合は、はく離シート側(滑らかな面)の角にテープを貼ると剥がしやすくなります。また、霧吹き等で水をたっぷりと吹きかけると貼り直しがしやすいです。

⑤ 仕上げ

本体シートを上端から順に均一に押さえ、スクイージーで中央から外側に向かって水と空気を押し出し、しっかりと貼り付けます。

Point!

貼った表面に霧吹きで水をかけ滑らせると作業がしやすくなります。



お手入れ方法

シート表面の汚れは、水又は中性洗剤を含ませた柔らかい布で優しく拭き取って下さい。シンナーやベンジンのご使用は出来ません。